

12 各務原市緑苑地区社会福祉協議会

活動拠点：緑苑ふれあいハウス「ふらっと」
〒509-0114 各務原市緑苑中3-17
会 長：安村 佳之

地区の概要

緑苑地区の状況 人口 5,304人 2,109世帯 高齢化率 33.37% (平成27年4月1日現在)

40年ほど前に順次宅地造成された地域で、坂が多い。

子育て環境が良く、住みやすいところだったが、年を重ねてみると坂がきつく、自動車がなければ買い物・通院等に不便である。空き家が多くなっている。

近所同士助け合おうと、自治会を単位とした近隣ケアグループが7か所立ち上がっている。

主な特色

●地域密着型ふれあいハウス『ふらっと』の活動

- 地域住民の交流拠点が必要との思いから誰でも気軽にふらっと立ち寄ってほしいとの意味をこめて、空き家だった築40年の平屋を活用した『ふらっと』が平成25年12月にオープンした。
- 『ふらっと』を地域の拠点として、住民同士がふれ合える場所であることを周知するため、市社協の協力のもと、広報として毎月のイベント内容等を紹介する『ふらっと通信』を全戸配布している。
- イベントの講師は、地域の人にお願ひし、住民の要望を基に月間スケジュールを立て、参加者が固定化しないよう工夫をしている。
- 食を通じたふれあいの場合は、『昼ごはんをみんなで楽しく食べるためにふらっと寄ってみよう』といった感覚で参加できるような環境づくりに努めている。
- 子どもから高齢者までが自然に世代を超えて交流できるようなイベント等を企画して、誰もが気楽に来てくれる雰囲気作りをしている。
- 平成27年度からは、ここまで来られない人を含め、『ふらっと』をより多くの人に知ってもらうため、地区の集会所を利用して『出前ふらっと』を開催。お茶を飲んでお話をしたり、お昼をいただいたりと参加者も多く、好評である。
- 今後、各地区で開催していく予定である。



「親子で一緒に遊ぼう」の様子



「認知症予防脳トレ」の様子

●緑苑グリーン(地域通貨)による地域助け合い

- ボランティアやお手伝いのお礼として、『グリーン』を受け渡すことによって、ご近所づきあいのきっかけを作り、高齢化社会に向けて、住民相互が助け合っているような環境づくりを行っている。
- 緑苑内の商店の協力により、代金支払いの際に『グリーン』を金券として活用できる。

ポイント

空き家を活用した地域住民の交流拠点づくり

地域の住民同士が交流し助けあうことが必要との思いから、地域の空き家を活用して交流の拠点を運営している。地域通貨『グリーン』の活用により、相互助け合いと地域の活性化を進めている。

今後の展望

地域住民の方に広く利用してもらい、地域の交流拠点として定着させていきたい。

男女問わず幅広い年齢層のスタッフにより企画実施し、魅力ある運営をしていきたい。

『自分たちの地域は、自分たちが育て・守る』を基本に、住みやすい・住んでよかったと思える地域づくりにつながるとうい。

ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ

「岐阜県コミュニティ診断士」を派遣します

県では岐阜経済大学と協同し、岐阜県コミュニティ診断士を養成、認定しております。地域の現状を把握して課題を抽出したり、住民の話し合いを進行してまとめる役割(ファシリテーター)を担ったりと、地域活動のお手伝いをします。ぜひご活用ください。

活動の例

高山市の大八まちづくり協議会では、コミュニティ診断士がファシリテーターとなって、まちづくりの活動計画づくりに関するワークショップを開催しました。



大八まちづくり協議会でのワークショップの様子

岐阜県コミュニティ診断士

検索